

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川 黒瀬川水系 黒瀬川外 災害実施設計書作成に伴う業務委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 道路 掘削・掘削のり面

ボーリング名	No. 763	調査位置	呉市豊浜町大浜（谷口生コン西）	北緯	34° 9' 15.89"
発注機関	広島県 西部建設事務所 呉支所	調査期間	令和01年05月15日～令和01年05月15日	東経	132° 48' 35.19"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コ		ア		ボーリング責任者	
鑑定者					
孔口標高	T.P. 8.64 m	角		方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	6.85 m	度		地盤勾配	
使用機種	試錐機 D1-B(東邦地下)	エンジン	NF-8(ヤンマー)	ポンプ	BG-3B(東邦地下)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位測定年月日	標準貫入試験					試験採取番号	室内試験	削孔月日	
											N 値	深度 (m)	100mm 以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量				自沈時の貫入量
			●●●●●●●●●●	礫混り砂		黄灰	極緩		マサ土起源の崩積土砂。岩構造は全く残さず、「礫混じり砂」状を呈する。粗砂主体の混合砂。礫はφ5mm以下の垂直礫が点在する。流木、竹を混入する。土塊としての自立性に欠ける。		N 値								
1												1.15	1	1	2				
2												1.45	200	1	1	300			
3	5.24	3.40										2.15		1	2	1	4		
4			+++++	強風化花崗岩		褐灰	極密		基盤である花崗岩の風化帯。芯部まで風化が進み、土砂化が著しい。岩構造は明瞭に残すが、指圧で容易に圧砕され、粗砂状を呈する。DM級、軟岩に区分する。			2.45	1	2	1	4			
5												3.15		1	2	1	4		
6												3.45	1	1	8	10			
7	1.64	7.00										4.05	50			50	100		
8												4.15				50	100		
												5.00	35	15	50	110			
												5.11	10		110				
												6.00	30	20	50	120			
												6.12	20		120				
												7.00	50		50	50			
												7.05	50		50	50			